

平成29年3月期 第2四半期決算概要

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)	増減	
			金額	率
売上高	14,564	14,686	△ 122	-0.8%
営業利益	652	131	521	397.7%
金融収支	41	△ 20	61	※1
その他営業外	70	93	△ 23	※2
持分法損益	△ 11	0	△ 11	※3
経常利益	752	204	548	268.6%
特別損益	△ 69	-	△ 69	※4
税引前利益	683	204	479	234.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	496	122	374	306.6%
1株当り四半期純利益	4円72銭	1円16銭		

※1 金融収支の主な内訳

	H28/9	H27/9	差
受取配当金	71	16	+55

※2 その他営業外差異の主な内訳

	H28/9	H27/9	差
為替差損益	△16	△1	△15

※3 小名浜海陸運送

	H28/9	H27/9	差
	△11	0	△11

※4 特別損益の主な内訳

	当第2四半期	前年同四半期
補助金返還損 (注)	△ 69	-
計	△ 69	-

(注) 東日本大震災時に設備復旧のため受領した補助金の一部返還

①セグメント別売上高 (連結)

		当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)	増減
報告セグメント	無機化学品	6,760	7,798	△ 1,038
	機能化学品・化成品	4,943	5,428	△ 485
	エンジニアリング	2,127	759	1,368
	貨物運送・荷役	590	555	35
その他		62	60	2
調整額		82	86	△ 4
計		14,564	14,686	△ 122

合成石英粉、EL薬品、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)は需要が堅調に推移したこと等から増収となるも、アノール系製品は国際市況が下落したことによる影響及び主要顧客向け販売減少等により、対前年同期比減収

紫外線硬化性樹脂は需要が堅調に推移したこと等から増収となるも、メノールは国際市況が下落したことによる影響及びTAIO®(ゴム、プラスチック架橋補助剤)は主要顧客向け販売が減少したこと等から、対前年同期比減収

前期からの大型繰越受注案件の検収があったことに加え、一部工事の早期竣工・検収時期ずれがあったこと等から、対前年同期比増収

新規案件の獲得等により、対前年同期比増収

有機溶剤等の蒸留・精製業については主要顧客向け販売増等により、対前年同期比微増

上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコホート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益 (連結)

		当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)	増減
報告セグメント	無機化学品	318	213	105
	機能化学品・化成品	209	△ 42	251
	エンジニアリング	122	△ 140	262
	貨物運送・荷役	33	33	-
その他		6	10	△ 4
調整額		△ 36	57	△ 93
計		652	131	521

合成石英粉、EL薬品、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)は需要が堅調に推移し、対前年同期比増益

紫外線硬化性樹脂の需要が堅調に推移したこと等により、対前年同期比増益

前期からの大型繰越受注案件の検収があったことに加え、一部工事の早期竣工・検収時期ずれがあったこと等から、対前年同期比増益

新規案件の獲得等があったものの、車両の更新等による経費増により、前年同期並み

有機溶剤等の蒸留・精製業については設備の更新による経費増等により、対前年同期比減益

原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコホート部門の損益を調整額として表示

2. 連結比較貸借対照表

	当第2四半期 連結会計期間末 (H28.9.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減		当第2四半期 連結会計期間末 (H28.9.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減
現預金	2,188	1,084	1,104	有利子負債	8,198	8,172	26
売上債権	7,396	9,650	△ 2,254	仕入債務	3,856	5,125	△ 1,269
たな卸資産	4,020	4,223	△ 203	その他負債 ※2	6,659	6,151	508
固定資産(有形・無形)	11,252	11,336	△ 84	株主資本	13,462	13,386	76
投融資等	5,525	5,563	△ 38	その他の包括利益累計額	△ 100	△ 111	11
その他資産 ※1	1,694	867	827				
資産合計	32,075	32,723	△ 648	負債・純資産合計	32,075	32,723	△ 648

(注) 自己資本=純資産-非支配株主持分  
D/Eレオ=有利子負債/自己資本

自己資本	13,362	13,275	87
自己資本比率	41.7%	40.6%	1.1%
有利子負債	8,198	8,172	26
D/Eレオ	0.61	0.62	△ 0.01

※1 増減内訳: 短期貸付金+999 他

※2 増減内訳: 前受金+553 他

### 3. 連結キャッシュ・フロー

(参考)

	当第2四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.9.30)
営業活動によるCF	2,875	1,165
投資活動によるCF	△1,376	233
フリーキャッシュ・フロー	1,499	1,398
財務活動によるCF	△394	△1,464
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1	△2
現金及び現金同等物の 増減	1,104	△68

税前利益 683、減価償却費 472、売上債権の減少額 2,254、その他流動負債の増加額 390、仕入債務の減少額△1,269、たな卸資産の減少額等 345

短期貸付金の増加額 △999、設備投資等 △377

配当金の支払額等△394

### 4. 連結通期業績予想

(平成28年5月13日発表)

	29年3月期 通期	28年3月期 実績	増減	
			金額	率
売上高	34,500	32,871	1,629	5.0%
営業利益	1,120	1,112	8	0.7%
経常利益	1,390	1,567	△177	-11.3%
特別損益	△300	△194	△106	
税引前利益	1,090	1,373	△283	-20.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	760	895	△135	-15.1%
1株当たり当期純利益	7円23銭	8円52銭		
1株当たり配当金(期末のみ)	4円	4円		

#### ①セグメント別売上高

		29年3月期 通期	28年3月期 実績	増減	
報告 セグメント	無機化学品	16,600	15,738	862	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)等の拡販努力により増収
	機能化学品・化成品	11,500	11,120	380	糊マリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復等により増収
	エンジニアリング	4,900	4,560	340	工事受注回復等により増収
	貨物運送・荷役	1,210	1,163	47	主要顧客向け運送量増等により増収
その他		120	122	△2	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減収
調整額		170	168	2	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示
計		34,500	32,871	1,629	

#### ②セグメント別営業利益

		29年3月期 通期	28年3月期 実績	増減	
報告 セグメント	無機化学品	510	392	118	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(AdBlue®)等の拡販努力により増益
	機能化学品・化成品	390	381	9	糊マリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復あるも、機能化学品関連の競争環境激化等により微増
	エンジニアリング	160	149	11	工事受注努力等により微増
	貨物運送・荷役	50	59	△9	車両の更新等による経費増により微減
その他		10	19	△9	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減益
調整額		0	112	△112	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示
計		1,120	1,112	8	